

令和2年度に向けた我が校の教育ビジョン

作成年月日：令和元年12月10日

伊丹市立北中学校

(学級数23学級、生徒数678人)

1 本年度の取組状況(11月末現在)

「今こそ、学校改革～古き良き伝統を重んじ、新しい風を取り入れ改革を推進する～」を経営理念に、「生徒一人ひとりが主役となり、何事にも全力で取り組む学校」を目指している。

2 めざす学校像

(1) 学力を向上させる学校

- ① 「思考ツール」で生徒の思考を可視化し、「主体的・対話的深い学び」を追究(指導助言：國學院大學 教授 田村 学 氏)
- ② 授業研究会の実施(6月/11月/3月予定)
- ③ 授業アンケートを実施(毎学期)
- ④ 「NIE教育」(毎週)を実施

(2) 豊かな心を育成する学校

- ① 生徒会活動等の自治活動を推進
- ② 「心を耕す道徳授業」の実施と「評価」の研究
- ③ 「QU検査」に実施による学級経営の改善(5月/11月)
- ④ 生活点検アンケート(毎月)実施

(3) 体力を向上させる学校

- ① 基礎体力作りの継続(体育/部活動)
- ② 体力テストの実施と啓発(タイムトライやる上位入賞者の掲示)
- ③ 「保健だより」の発行(毎月)・学校保健委員会の実施(6月)

(4) 「つながり」を大切にする学校

- ① 情報発信(学校通信/HP毎日更新/学年通信)
- ② 地域への社会貢献活動(施設慰問訪問/行事の準備や後片付け等)
- ③ 学校運営協議会開催(年間10回)校区拡大運営協議会開催(毎学期)
- ④ 各小学校地区協議会への参加(毎月)

(5) 安全・安心の環境づくり

- ① 防災教育(ハザードマップ作成・講演会・DIG訓練実施)
- ② 設備安全点検(毎月)
- ③ 業務の見直し改善・勤務時間の適正化

3 めざす子ども像

- (1) 何事にも全力で取り組む生徒
- (2) マナー・ルール・モラルが守れる生徒
- (3) 「つながり」を大切にする生徒

4 めざす教師像

- (1) 生徒とともに全力で取り組み、自己研鑽に励む教職員
- (2) 生徒に範を示すことができる教職員
- (3) 保護者・地域と積極的につながる教職員

5 我が校の特色

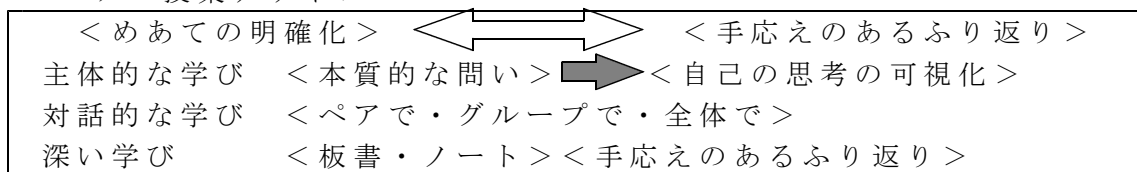
- (1) システム手帳を導入し、「振り返る」ことで時間の有効活用、生活の見直し、改善ができるよう指導している。
- (2) 各学年に応じたNIE教育で生徒の言語活用能力を伸長している。
- (3) 体験活動（集団行動/大声校歌/合同体育/行事での異年齢交流/幼稚園児との異年齢交流/地域行事への参加）等を通して、豊かな心をはぐくみ、自己有用感を育成している。
ランティア/図書ボランティア）が盛んである。
- (4) HPを毎日更新するとともに、学校通信や学年通信等で地域や保護者へ情報発信している。
- (5) 学校運営協議会との連携が深く根付きつつある。

6 我が校（園）の研究概要

- (1) 研究主題「キャリア教育の視点でつなぐ教育活動の構築
～ICTや思考ツール等を活用した学びを深める教育実践～」
- (2) 研究の柱「つなぐ・つながる・つなげる」をキャッチフレーズに

① 「授業改善・学力向上」

ア 授業デザイン



- * ICTや思考ツール等を活用した主体的・対話的で深い学びの構築
- イ 基礎基本の徹底（NIE教育の推進/終礼学習/週末課題）
 - ウ 教師の授業力向上（授業評価アンケート・教科部会・校内外研修会）
- ② 「総合的な学習の時間」の充実
- ア キャリア教育の視点でもって3年間を見通した系統的な計画作成と実施（年間指導計画をクロスカリキュラム表にまとめる）
 - イ 北中ならではの「総合的な学習の時間」（防災教育）
 - ウ キャリアプランニング能力育成のための「システム手帳」の導入
- ③ 道徳教育の充実
- ア 3年間を見通した系統的な計画と実践
 - イ 特別の教科「道徳」の評価研究

7 学力向上に向けた取組

- (1) 授業改善
 - ① 「教える」授業から「学ばせる」授業への意識改革
 - ② 「学びの手応え」のある振り返りを意識させる「めあて」の設定
 - ③ ICT機器・思考ツール等を活用した授業
 - ④ キャリア教育の視点を取り入れる
 - ⑤ 言語NIE教育の推進
 - ⑥ 校内研修会の充実・（若手教員の学びの場）北盛会の実施
 - ⑦ 校外研修会での積極的学びの推進

- ⑧ 「適切な評価」への研鑽
- (2) 家庭学習
 - ① 「システム手帳」を活用し、家庭学習習慣化を図る
 - ② アンケート等による実態把握
 - ③ 授業に生きる予習・復習の提示
 - ④ 保護者への情報発信と啓発
- (3) 課題克服
 - ① 実態把握と課題分析
 - * 授業評価アンケート・全国学力学習状況調査・伊丹市学習到達度調査
 - ② 教科部会の充実
 - ③ 分析結果と課題克服の方策を周知

8 教職員の勤務時間適正化に向けた取組

- (1) 毎週休日・平日1日を「ノー部活デー」と設定する
- (2) PC会議で時間の短縮、勤務の効率化、資源の節約を実施している
- (3) 記録簿を記入し、勤務時間の意識化を図っている
- (4) 「システム手帳」を導入し、時間の有効活用を意識化している

9 今後に向けて

- 令和2年度も引き続き学校教育目標を「一人ひとりが主役となる、何事にも全力で取り組む学校づくり」とし、「今こそ、学校改革～古き良き伝統を重んじ、新しい風を取り入れ改革を推進する～」を経営方針とする。
具体的には学校運営協議会との連携を深めて、時代のニーズに合わせて変えていくべきところは変える「しなやかな姿勢」で改革に取り組んでいく。
- * 女子の制服をスカート、ズボンの選択制とする
- * 夏服半袖シャツにポロシャツを導入する
- * 地域の利を活かした学校行事を展開する
- 主体的、対話的深い学びのために、教師の授業に対する意識改革（「教師がどのように教えるか」という授業から「生徒がどのように学ぶか」という授業へ）を図る。そのために、この2年間で研究してきたことの上に、生徒が授業で「学びの手応え」が感じられる「ふり返り」となるよう授業改善を行い、学びの向かう力を養う。
- 学んだ知識・技能を思考力・判断力・表現力につなげていくためには「言語能力の育成」が重要な鍵となると考え、今後も「NIE教育」を工夫し、推進していく。
- 人間性の涵養を育成するために、体験活動を通じた学習を重視するとともに特別の教科「道徳」や「総合的な学習の時間」の充実を図っていく。
- 心身ともに健やかな成長ができるよう、安心・安全の学校づくりに努める。

伊丹市立北中学校 校長 古谷 真紀子

我が校のHPのアドレスは・・・<http://www.kita.itami.ed.jp//>